〈誌上作品発表〉

春花秋草図 ――――ソプラノ・サクソフォーンとピアノのための(第1楽章)

千 秋 次 郎

◆制作までの経過と初演

サクソフォーン奏者で本学演奏学科非常勤講師の前田 昌宏氏より 1993 年の秋に、サクソフォーン作品の制作依 頼を受けた。来春1994年3月に予定されているパリ国立 高等音楽院1)での同氏のリサイタルに、他2曲の邦人作 品と共に演奏したいとのことで、演奏時間約10分以内の ソプラノ・サクソフォーンとピアノのための作品を希望 された。筆者にはすでに、サクソフォーンとピアノのた めの《砂の砦》(1991) とサクソフォーン八重奏曲《風の 中の春》(1991)がある。今回の作品内容に関しては、両 者でイメージを話し合ったのち,2楽章構成の伝統的な 情感のものということで、《春花秋草図》2)というタイト ルを選び、1994年1月2日から作曲に着手、第1楽章を 1月5日に完成,第2楽章を1月8日に完成した。初演 は、下のプログラムにもあるように、1994年3月6日、 パリ国立高等音楽院モーリス・フラーレホールにおいて 公開演奏された。

◆作品の概要

俵屋宗達《風神雷神図□風》や酒井抱一《夏秋草図□風》など、ふたつの景物を対照的に配置する伝統的な発想をここでも踏襲し、演奏時間がどちらも約4分30秒の緩急2楽章によって本作品を構成した。紙面の制約上ここでは緩やかな第1楽章を提示している。4拍子、AーBーCーB'ーAというアーチ型構造の、オーソドックスなアリオーソ楽章で、ピアノパートの冒頭および終結和音もあきらかに変ロ長調を示してはいるが、主題としてサクソフォーンによって歌われる旋律の大半はきわめて

旋法的であり、日本の伝統的な情感を伝えている。このようないわば折衷的な手法は、筆者がこれまでの作品で 夙に試みてきたものであり、日本作曲家協議会より出版 されているマリンバとピアノのためのソナタ《ささの葉は》(1983)や、フルートとピアノのためのソナチネ第2番《草のいのちに》(1986)なども、その一例である。また、g-a-f-eという屈折する音型が、双方の楽章に浸透し、作品全体の統一を図っている。

ここには提示できなかったが第 2 楽章は速い 6 拍子,周知の小倉百人一首に譬えて言えば,《ひさかたの光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ》(紀 収則)という前楽章に対し,この楽章は《白露に風の吹きしく秋の野はつらぬさとめぬ玉ぞ散りける》(文屋朝康)という情景でもあろうか。A-B-A-Bという,展開部を持たない簡潔なソナタ形式,再現部第 2 主題の前にサクソフォーンによる短いカデンツァが置かれている。

なお,本作品は1994年6月5日に奈良・秋篠音楽堂で, 6月11日に京都・バロックザールで,9月28日に吹田・ メイシアターで,10月31日に新宿・角筈区民センターで,

Dans le sude d'une Master-class de saxophone (échange succ Claide Delangle),
qui se tiendra salle 333 les 7 et 8 mars 1994 :

Mardi 8 mars 1994 - 12h30

Espace intendisciplinaire Maurice-Flerret

Masahiro Maeda

professeur de sasophone a l'Université de musique d'Oukla (Japon)

Kazumi Maeda, piano

Troit créations paus saxophone agrama es piano

Jiro Censhu

Deux esprits floraux

Koh Okumura

Berceuse pour ma marianette

Tetsunosuke Kushida

Trois fragments d'après "Haikui" de Basho

Masahiro Maeda

Quatre saisons à vous (ursangé)

それぞれ再演が持たれている。

註)

- Conservatoir nationale supérieur de musique et de danse de Paris
- 2) このタイトルのニュアン スは外国語には直ちに翻 訳しにくいので、Deux esprits floraux (ふたつ の花の気質) という表現 にした。

サキソフォーンとピアノのための春花秋草図

作曲/千秋次郎 Jiro Censhu (1994)

Deux esprits floraux, pour saxophone soprano et piano







© 1994 by Jiro Censhu





